

平成30年度 学校自己評価表

<p>教育方針</p> <p>◆磨こう自分(個別の知識・技能の向上) 自分の力を信じ、学習や運動、生活など、基礎・基本をしっかりと身に付けている子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な知識・技能 ・凡事徹底(あいさつ、返事、くつそろえ、もくもくそうじ) ・語彙力、読書活動 ・健康、体力づくり <p>◆仲間と共に(思考力・判断力・表現力等の向上) 友達と力を合わせ、学習したことを使って、主体的・対話的で深い学びをする子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え、表現する ・学び合い ・学校が楽しいと感じられる学級・学習集団 ・縦割り班を活用した主体的活動 <p>◆未来に向かって(学びに向かう力・人間性等の育成) 学習したことを社会と結び付けたり、社会に生かそうとする子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「ヒト・モノ・コト」とのつながりを重視した体験活動 ・持続可能なコミュニティをイメージできる児童づくりに努め、ふるさとを誇りに思う心情を育てる。 ・ESDの視点で教育活動を捉え直し、共通の目的を持つことでさらなる充実を図る ・新学習指導要領の実施に向けた教育内容の改善 	<p>◆磨こう自分(個別の知識・技能の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南小版「学習ルール」を活用し、保・小・中の連携を図りながら、学年に応じた学習規律の定着を図る。 ・学年に応じた学習時間、内容を設定して、家庭学習の充実を図る。(予習、復習、自主学習) ・「もくもく掃除」の充実を図る。 ・「朝来市モデル」を参考に、わかりやすい授業づくりに努める。(教室環境、ICT、板書、授業の流れ 等) ・県診断テストや各種学力テスト等の数値を具体的な指標とし、学力向上のための取組の改善に生かす。 <p>◆仲間と共に(思考力・判断力・表現力等の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しを持ち、課題解決に向けて主体的に取り組めるように努める。 ・タブレット端末やパソコンを用いた調べ学習や表現活動を推進する。 ・ピクトグラムを用いて、主体的・対話的で深い学びを推進する。 ・縦割り班活動において、話し合い活動や相互評価を取り入れ、主体的な活動を促すとともに、豊かな人間関係作りにも努める。 <p>◆未来に向かって(学びに向かう力・人間性等の育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットやテレビ、ゲーム等の1日2時間以内を徹底する。(早寝の習慣) ・地域社会とのつながりを意識した学習展開や学校行事に努める。(米、梨、野菜、歌) ・特別の教科道徳について研修し、道徳ノートの活用を図る。 ・ESDの視点を取り入れ、教科横断的な捉え方に努める。 ・外部講師による校内研修や授業研究会(一人年1回以上)、研究会参加等により、授業力向上を図る。 ・コミュニティ・スクールについての校内研修に努める。
---	---

教育活動重点	めざす児童像	重点目標	努力事項・具体的方策	到達目標	評価基準
磨こう自分(個別の知識・技能の向上)	『磨こう自分』 自分の力を信じ、学習や運動、生活など、基礎・基本をしっかりと身に付けている子ども ○自分で考え、表現する ○凡事徹底(あいさつ、返事、くつそろえ、もくもくそうじ) ○語彙力、読書活動 ○健康・体力づくり	学習ルールの定着	南小版「学習ルール」を活用し、保・小・中の連携を図りながら、学年に応じた学習規律の定着を図る。	友達や先生の話最後まで聞くことができる。	話を最後まで聞くことができる。(児・保・教80%)
		家庭学習の充実	学年に応じた学習時間、内容を設定して、家庭学習の充実を図る。	1～3年生は30分以上、4年生以上は10分×学年以上の家庭学習をすることができる。	学年に応じた時間、内容で家庭学習をすることができる。(児・保・教80%)
		基本的な生活習慣の定着	「もくもく掃除」の充実を図る。	掃除時間、黙って隅々まで掃除することができる。	黙って隅々まで掃除することができる。(児・教80%)
		学習のUD化	「朝来市モデル」を参考に、わかりやすい授業づくりに努める。	発言スタイル(グー・チョコキ・パー)を意識して発表することができる。	発言スタイル(グー・チョコキ・パー)を意識して発表することができる。(児・教80%)
仲間と共に(思考力・判断力・表現力等の向上)	『仲間と共に』 友達と力を合わせ、学習したことを使って、主体的・対話的で深い学びをする子ども ○自分で考え、表現する ○信頼、感謝 ○学び合い	主体的な活動	学習の見通しを持ち、課題解決に向けて主体的に取り組めるように努める。	学習の見通しを持って積極的に取り組むことができる。	学習の見通しを持って積極的に学習に取り組むことができる。(児・教80%)
		ICTを活用した魅力ある授業づくり	タブレット端末やパソコンを用いた調べ学習や表現活動を推進する。	タブレット端末やパソコンを用いて、調べたり表現したりできる。	タブレット端末やパソコンを用いて、調べ学習や表現活動を行っている。(児・教80%)
		対話的な学習	ピクトグラムを用いて、主体的・対話的で深い学びを推進する。	対話的な学習を通して、学習課題を解決することができる。	自分や友達と対話しながら、学習課題を解決することができる。(児・教80%)
未来力に向かう(学びに向かう力・人間性等の育成)	『未来に向かって』 学習したことを社会と結び付け、社会に生かそうとする子ども ○夢、志、郷土愛 ○高い目標	保小中高のつながりを意識した岩美町スクラム教育の推進	ネットやテレビ、ゲーム等の1日2時間以内を徹底する。	2時間以内を守って、早寝の習慣を身に付けることができる。	目安の時刻を守って早寝をすることができる。(児・教80%)
		地域社会とのつながりを意識した学習展開や学校行事に努める。	地域社会の一員としての自覚を持つことができる。	地域社会の一員としての自覚を持つことができる。	地域社会の一員としての自覚をもち、ふるさと岩美町に誇りを持っている。(児、保、教80%以上)
		特別の教科道徳について研修し、道徳ノートの活用を図る。	道徳ノートを活用し、評価に生かす。	道徳ノートを活用して評価に生かすことができる。(教80%)	